

2023 事業年度

第55期 $\left(\begin{array}{l} \text{自 2023年4月 1日} \\ \text{至 2024年3月31日} \end{array} \right)$

事業報告書

貸借対照表

正味財産増減計算書

財務諸表に対する注記

附属明細書

財産目録

収支計算書

収支計算書に対する注記

監査報告

事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日

第1 概要

2023事業年度は、コロナ禍が一定の落ち着きを見せるなか、ほぼ計画に沿った事業活動を行うことができた。

会員の加入・退会状況は、正会員4会員、賛助会員1会員が加入、正会員4会員、賛助会員2会員が退会となったほか、3会員が第2種正会員から第1種に移行した。

活動状況は、精米HACCP認定事業については、現地審査がほぼ順調に進み、認定審査会を8回開催することができ、継続維持認定のほか、新たに6事業所（工場）を認定した。これにより3月末現在の認定は203事業所となった。

精米JASについては、上期に一般社団法人日本精米検査認証協会から受託し、認証取得をめざす精米事業者を対象にした「精米JAS品質管理講習会」及び「精米JAS検査技能講習会」を開催した。その後、受講事業者からの一般社団法人日本精米検査認証協会への認証申請が始まり、申請があった8事業者の申請書類の審査を行った。

環境負荷軽減につながる石灰石を主原料とするLIME X 50%含有の包装容器については、現在、実用化に向けた最終的な確認試験を行っている。

教育活動については、通信教育は例年並みの受講者数であったが、集合研修会の参加者は昨年を大きく上回った。

受託活動については、精米HACCP支援、苦情処理相談、各種証明等、前年度と同程度で推移した。

調査・分析活動については、高温障害等による落等が各地で懸念、問題視されたことから、速やかに調査結果を発信した。

第2 組織とその運営について

1. 会員の増減

区分	2023.3.31 現在	増加	減少	2024.3.31 現在
第1種会員	232	7	4	235
第2種会員	31	0	3	28
賛助会員	42	1	2	41

(1) 第1種会員

増加：総武米穀卸株式会社（千葉）、株式会社やすい（和歌山）、株式会社壺成（新潟）、株式会社カツヤ（広島）、株式会社九州食糧（熊本）、株式会社宮崎アグリライス販売（宮崎）、おきなわ米販株式会社（沖縄）

減少：函館米穀株式会社（北海道）、若井糧穀株式会社（群馬）、千田みずほ株式会社（神奈川）、テーブルマーク株式会社（香川）

(2) 第2種会員

減少（第1種に移行）：株式会社壺成（新潟）、株式会社宮崎アグリライス販売（宮崎）、おきなわ米販株式会社（沖縄）

(3) 賛助会員

増加：株式会社宝生倉庫（福岡）

減少：アマノ株式会社（神奈川）、ニューロング株式会社（東京）

2. 役員及び委員数

区分	2023.3.31 現在	増加	減少	2024.3.31 現在
理事	20	1	2	19
監事	3	0	0	3
顧問	0	1	0	1
総務委員会	9	2	2	9
精米加工委員会	8	2	2	8
炊飯委員会	5	0	1	4
精米HACCP委員会	7	1	1	7

(1) 理事（敬称略）

就任：藤井雅樹（ホクレン農業協同組合連合会）

退任：田辺裕一（ホクレン農業協同組合連合会）

退任：服部良一（株式会社サンフリード）

(2) 顧問 (敬称略)

就任：川村周三 (農学博士・元北海道大学農学研究院教授)

(3) 総務委員会 (敬称略)

委嘱：大向克也 (全農パールライス株式会社)

委嘱：吉田昌弘 (全農パールライス株式会社)

解嘱：大向克也 (全農パールライス株式会社)

解嘱：千田法久 (千田みずほ株式会社)

(4) 精米加工委員会 (敬称略)

委嘱：森本剛史 (全農パールライス株式会社)

委嘱：竹井 勝 (木徳神糧株式会社)

解嘱：政平博文 (全農パールライス株式会社)

解嘱：金子泰彦 (木徳神糧株式会社)

(5) 炊飯委員会 (敬称略)

解嘱：原 智一 (千田みずほ株式会社)

(6) 精米HACCP委員会 (敬称略)

委嘱：熊谷進悦 (全国農業協同組合連合会秋田県本部)

解嘱：熊谷進悦 (全国農業協同組合連合会秋田県本部)

3. 会 議

(1) 総 会

第54回定時総会

日 時 2023年6月12日 (月) 13:30

場 所 ロイヤルパークホテル2階「春海」

議 事

第1号議案 2022事業年度事業報告及び決算報告に関する件

(事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録、収支計算書、収支計算書に対する注記、監査報告)

第2号議案 2023事業年度事業計画に関する件

第3号議案 2023事業年度入会金及び会費の納入並びに収支予算、役員報酬に関する件

第4号議案 役員 (理事) の選任に関する件

講 演

「日銀と金融・経済」

日本銀行国際局長 神山一成 氏

(2) 理事会

第1回 (ハイブリッド会議)

日 時 2023年5月24日 (水) 13:00

場 所 食糧会館5階「会議室」

議 事

【決議事項】

第54回定時総会提出議案について

第1号議案 2022事業年度事業報告及び決算報告に関する件

(事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表
に対する注記、附属明細書、財産目録、収支計算書、収支計
算書に対する注記、監査報告)

第2号議案 2023事業年度事業計画に関する件

(注記：本件は3月17日の理事会で承認済み)

第3号議案 2023事業年度入会金及び会費の納入並びに収支予算、役
員報酬に関する件

(注記：本件は3月17日の理事会で承認済み)

第4号議案 役員(理事)の選任に関する件

【報告事項】

- ① 常任理事(会長・副会長・専務理事・常務理事)の職務執行状況について
- ② 会員の入会について
- ③ その他

第2回 (ウェブ会議)

日 時 2023年11月28日 (火) 13:00

場 所 食糧会館5階「会議室」

議 事

【決議事項】

第1号議案 2023事業年度上期事業報告に関する件

第2号議案 2023事業年度上期収支決算報告に関する件

第3号議案 株式会社九州食糧の入会に関する件

第4号議案 顧問(技術)の委嘱に関する件

【報告事項】

- ① 常任理事(会長・副会長・専務理事・常務理事)の職務執行状況について
- ② その他

第3回 (ハイブリッド会議)

日 時 2024年3月29日 (金) 13:00

場 所 食糧会館5階「会議室」

議 事

【決議事項】

- ① 2024事業年度事業計画（案）に関する件
- ② 2024事業年度収支予算（案）に関する件
- ③ 2024年6月までの運営（案）に関する件

【報告事項】

- ① 2023事業年度事業進捗状況について
- ② 2023事業年度収支（見込）について

(3) 監事会

第1回

日 時 2023年5月24日（水） 11:30

場 所 食糧会館7階「本会会議室」

議 事

- ① 2022事業年度事業報告及び決算報告（事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録、収支計算書、収支計算書に対する注記）に関する件
- ② その他

第2回

日 時 2023年11月28日（火） 11:30

場 所 食糧会館7階「本会会議室」

議 事

- 第1号議案 2023事業年度上期事業報告に関する件
第2号議案 2023事業年度上期収支決算報告に関する件

(4) 総務委員会

第1回（ウェブ会議）

日 時 2023年11月17日（金） 11:00

場 所 食糧会館5階「会議室」

議 題

- ① 2023事業年度上期事業報告について
- ② 2023事業年度上期収支決算報告について
- ③ 株式会社九州食糧の入会について
- ④ 顧問（技術）の委嘱について

第2回（ハイブリッド会議）

日 時 2024年3月18日（月） 13:00

場 所 食糧会館5階「会議室」

議 題

- ① 2023事業年度事業進捗状況について
- ② 2023事業年度収支見込みについて
- ③ 2024事業年度事業計画（案）について
- ④ 2024事業年度収支予算（案）について
- ⑤ 2024年6月までの運営（案）について

(5) 精米加工委員会

第1回（書面会議）

日 時 2024年1月31日（水）

場 所 食糧会館7階「本会会議室」

議 題 停電復旧の手引きについて

(6) 賛助会員会議

日 時 2023年6月30日（金） 12:15

場 所 食糧会館5階「会議室」

議 題 2023事業年度事業計画について

講 演

- ① 米の共乾施設や精米工場でアミロースを実測可能に
元北海道大学農学研究院教授 農学博士 川村周三 氏
- ② 遮熱塗料による温度抑制効果検証
NCK株式会社 営業部ゼネラルマネージャー
環境管理士 小林秀和 氏
- ③ 玄米を食味評価する評価基準と評価方法
一般社団法人日本精米工業会 技術部副次長 石碕美穂子

第3 事業

1. 精米JASの普及推進

(1) 事業計画

精米JASの制定・施行を受け、会員事業者に対し、精米品質の高位平準化につながる精米JASの普及推進を図る。

(2) 事業報告

一般社団法人日本精米検査認証協会から受託の講習業務につき、認証取得をめざす精米事業者を対象に「精米JAS品質管理講習会」を8月31日に、「精米

「JAS検査技能講習会」を9月1日に、それぞれ開催した。

2. 精米HACCP認定業務と継続維持審査

(1) 事業計画

- (1) HACCP支援法の高度化計画及び高度化基盤整備計画の認定
高度化計画及び高度化基盤整備計画認定業務規程に基づき、高度化計画及び高度化基盤整備計画の認定を行う。
- (2) 精米HACCPの認定
精米HACCP認定規程に基づき、精米HACCPの認定を行う。
- (3) 精米HACCPの継続維持審査
精米HACCP認定工場の継続維持審査を行う。

(2) 事業報告

認定審査会を開催し、以下の事業所を認定した。

① HACCP支援法の高度化計画及び高度化基盤整備計画の認定及び精米HACCPの認定

第4回 2023年 9月27日 4法人・ 4事業所

第8回 2024年 3月26日 2法人・ 2事業所

② 精米HACCPの継続維持認定

第1回 2023年 5月31日 20法人・ 20事業所

第2回 2023年 6月28日 21法人・ 21事業所

第3回 2023年 8月23日 18法人・ 22事業所

第4回 2023年 9月27日 26法人・ 28事業所

第5回 2023年11月15日 13法人・ 13事業所

第6回 2023年12月15日 28法人・ 28事業所

第7回 2024年 2月27日 29法人・ 31事業所

第8回 2024年 3月26日 34法人・ 34事業所

3. 環境負荷軽減（脱プラスチック）につながる包装容器の実現と普及

(1) 事業計画

石灰石を主原料とするLIME X（ライメックス）含有の包装容器については、30%含有の製品実績を踏まえ、50%以上含有の実現に取り組む。

(2) 事業報告

のむら産業株式会社の協力のもとで開発中のLIME X使用割合50%の米袋については、実用化に向けた最終的な確認試験を行っているところである。

4. 教育活動

(1) 事業計画

(1) 研修・講習

- ① 精米検査研修会
- ② 米穀検査技術研修会
- ③ 米飯食味評価研修会
- ④ 精米HACCP研修会
- ⑤ 新人向け基礎スキル勉強会
- ⑥ 精米工場防虫管理担当者養成研修会
- ⑦ 精米工場見学勉強会
- ⑧ 精米JAS品質管理講習会（日本精米検査認証協会より受託）
- ⑨ 精米JAS検査技能講習会（日本精米検査認証協会より受託）
- ⑩ その他、会員のニーズに基づく研修会等

(2) 通信教育

- ① 精米検査技術講座
- ② 精米工場製造技術講座
- ③ 精米工場管理技術講座
- ④ 米飯食味評価技術講座
- ⑤ 苦情処理対応講座
- ⑥ 精米工場有害生物対策講座
- ⑦ 精米HACCP講座

(2) 事業報告

以下の研修会等を実施した。

【研修・講習】

- ① 精米検査研修会（初級）
第106回 2023年7月10日～12日 修了者：64名
第107回 2024年1月22日～24日 修了者：29名
- ② 米穀検査技術研修会（中級）
第37回 2023年7月12日～14日 修了者：24名
第38回 2024年1月24日～26日 修了者：11名
- ③ 米飯食味評価研修会
第20回 2023年8月 1日～ 2日 修了者：6名
第21回 2024年2月15日～16日 修了者：8名

- ④ 精米HACCP研修会
 第18回 2023年 4月13日～14日 修了者：32名
 第19回 2023年11月 9日～10日 修了者：40名
- ⑤ 新人向け基礎スキル勉強会
 2023年5月19日 参加者：44名
- ⑥ 精米工場防虫管理担当者養成研修会
 2023年6月16日 参加者：34名
- ⑦ 精米工場見学勉強会
 2023年11月22日 参加者：32名
 (見学先) 株式会社ジェイエイトんどうフーズ
 株式会社山本製作所 東根事業所
- ⑧ 精米JAS品質管理講習会
 2023年8月31日 修了者：54名
- ⑨ 精米JAS検査技能講習会
 2023年9月1日 修了者：49名
- ⑩ 精米工場管理担当者セミナー (ウェブ開催)
 2023年10月4日～5日 参加者：70名

【通信教育】

2023年9月より開始し、「精米検査技術講座」「精米工場製造技術講座」「精米工場管理技術講座」「米飯食味評価技術講座」「苦情処理対応講座」「精米工場有害生物対策講座」「精米HACCP講座」の7講座で66名が受講した。

【これまでのライセンス制度による有資格者】

ライセンスの名称	人数
精米検査技術者	4,996
米穀検査主任技術者	635
米穀検査上級技術者	33
精米工場製造技術者	465
精米工場製造主任技術者	27
精米工場管理技術者	245
米飯食味評価士	457
上級米飯食味評価士	1

5. 受託活動の推進

(1) 事業計画

(1) 会員相談	会員からの問い合わせや相談について調査・分析し、結果を報告する。
(2) 精米HACCP支援	会員の要請に基づき、精米HACCP認定規格及び精米HACCP認定基準クリアに向けた必要な支援を行う。
(3) 精米JAS認証に関する評価業務	日本精米検査認証協会の委託を受け、精米JAS認証に係る審査等評価業務を行う。
(4) 米飯食味評価精度試験	事業所単位で参加し、事業所の米飯食味評価の精度を判定する米飯食味評価精度試験を実施することを通して、事業所とパネルの食味評価の精度向上を図る。
(5) 原料等の安全確認	精米工場における原料等の安全性を確認するために検査を行い、報告書を発行する。
(6) 品質証明	米の品質分析を行い、分析証明書を発行する。
(7) 性能試験	機械設備や計測機器等の新型機種のパフォーマンス試験を行い、所定の性能保持を確認するとともに、会員へ新型機種の紹介を行う。
(8) その他、会員の要請に応じ、精米工場に関する支援活動を行う。	

(2) 事業報告

① 会員相談

会員・精米工場から寄せられた本会への相談内容（消費者・実需者からの問い合わせ等）は61件で、以下のとおりである。

相談内容	件数	相談内容	件数
(1) 精米について	38	(2) 米飯について	19
① 精米への異物混入	30	① 異物	11
② 害虫及び防除対策	2	② 米飯の変色	7
③ 精米の変色	5	③ 食味	1
④ 異臭米	1	④ 害虫	0
⑤ その他	0	(3) その他	4

- ② 精米HACCP支援
会員からの要請を受け、精米HACCP取得に向け支援を行った。
- ③ 精米JAS認証に関する評価事業
一般社団法人日本精米検査認証協会から審査等評価業務を受託し、業務を実施するための体制等の整備を行い、8事業者の書類審査に入った。
- ④ 米飯食味評価精度試験
9会員から参加申請があり、現在試験結果を集計している。
- ⑤ 原料等の安全確認
玄米、精米及び糠の放射能スクリーニング検査を試料数7点について実施したところ、いずれも基準値を下回るものであった。
- ⑥ 品質証明
23会員から品質分析の依頼があり、試料数76点について分析し、証明書を発行した。
- ⑦ 性能試験
新型無洗米製造装置（MPRP36A：株式会社サタケ製）の性能試験を会員精米工場において実施し、結果は「精米工業」No.318（2023年7月）に掲載した。
- ⑧ その他
「中小企業等経営強化法」の生産性向上設備の証明団体として、63件の証明書を発行した。

6. 調査・分析活動

(1) 事業計画

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 玄米品位調査
2023年産米の地域別・品種別玄米の品質分析を行い、会員に提供する。(2) 精米品位分析
2023年産米の地域別・品種別精米の品質の情報収集を行い、会員に提供する。(3) 精米加工性調査
会員工場で搗精試験を行い、2023年産米の地域別・品種別の加工性に関するデータを会員に提供する。(4) 大型精米工場の実態調査
大型精米工場の製造経費等の実態を把握し、工場経費の分析を行う。(5) エネルギー使用状況調査
大型精米工場のエネルギーの使用状況を把握するための調査を行う。(6) その他、必要に応じて調査分析を行う。 |
|--|

(2) 事業報告

① 玄米品位調査

地域別・品種別の玄米、試料数1,324点の玄米品質分析を行い、原料玄米の評価指標となる分析データの情報提供を行った。玄米品質調査の結果はメールマガジン及びホームページに掲載した。

② 精米品位分析

2023年9月に入り調査を開始し、4,902点の精米品位情報をメールマガジン及びホームページに掲載した。

③ 精米加工性調査

2023年7月から調査を開始し、26点の搗精・精選・品質分析を行い、歩留や加工性の評価指標となる分析データの情報提供を行った。調査結果はメールマガジン及びホームページに掲載した。

④ 大型精米工場の実態調査

2022年度のとう精経費の調査は、81工場から調査票の提出があり、記載内容が不十分であった8工場を除いた73工場を集計したところ、精米1トン当たりのとう精経費は17,939円で、前年度より1,040円(6.2%)増加した。調査結果は「精米工業」No.320(2024年1月号)に掲載した。

⑤ エネルギー使用状況調査

2022年度のエネルギー使用量調査は、133工場から回答があり、精米1トン当たりの電気使用量及び1工場当たりの原油換算使用量、温室効果ガス排出量の集計を行ったところ、エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量は、昨年よりもわずかに低い結果となった。調査結果は「精米工業」No.319(2023年10月)に掲載した。

7. 研究・開発活動

(1) 事業計画

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 精米工場の停電復旧のためのガイドライン策定に取り組む。(2) その他、必要に応じて研究・開発を行う。 |
|---|

(2) 事業報告

精米工場の停電復旧のためのガイドラインについては、書面による精米加工委員会の検討を経て策定し、2024年1月「停電復旧の手引き」として作成し、ホームページに掲載した。

8. 広報・出版

(1) 事業計画

(1) 会報の発行

広報誌「精米工業」を年間4回（4月・7月・10月・1月）編集・発行する。

(2) メールマガジンの発行

米を取り巻く情勢等の最新ニュースをお知らせする。

(3) 精米に関する鑑定写真等の作成

精米JAS規格に関連する鑑定写真等を作成する。

(2) 事業報告

① 会報の発行

No.317（2023年4月）、No.318（2023年7月）、No.319（2023年10月）、No.320（2024年1月）を発行した。

② メールマガジンの発行

米を取り巻く情勢等の最新ニュースをNo.495（2023年4月）からNo.518（2024年3月）まで24回発信した。

③ 精米に関連する鑑定写真等の作成

精米JAS品質基準の確認に活用する鑑定見本写真等を作成した。次年度、ライスマuseumに掲載する予定である。

9. 物資斡旋

(1) 事業計画

精米工場において、原料や製品の品質分析や製品の食味評価を実施する際に必要な検査器具、薬品、機器等を廉価で斡旋する。

(2) 事業報告

検査器具試薬類及び精米工場の一般衛生管理を充実するための防虫剤等の斡旋を行った。

事業報告附属明細書

2023業年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	17,739	81,166	△ 63,427
当座預金	483,651	171,631	312,020
普通預金	6,351,538	2,643,405	3,708,133
定期預金	203,684,899	180,868,412	22,816,487
未収金	4,823,500	5,006,650	△ 183,150
立替金	1,225,599	1,459,695	△ 234,096
前払費用	1,199,608	1,016,358	183,250
流動資産合計	217,786,534	191,247,317	26,539,217
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
運営基金引当資産	90,000,000	90,000,000	0
減価償却引当資産	9,043,206	8,956,700	86,506
退職給付引当資産	91,272,742	84,174,888	7,097,854
特定資産合計	190,315,948	183,131,588	7,184,360
(2) その他固定資産			
保証金	5,587,000	5,587,000	0
什器備品	563,907	650,413	△ 86,506
拠出金	3,000,000	3,000,000	0
電話加入金	204,000	204,000	0
その他固定資産合計	9,354,907	9,441,413	△ 86,506
固定資産合計	199,670,855	192,573,001	7,097,854
資産合計	417,457,389	383,820,318	33,637,071
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,700,345	1,900,689	△ 200,344
前受金	243,100	292,600	△ 49,500
預り金	4,321,868	1,018,424	3,303,444
流動負債合計	6,265,313	3,211,713	3,053,600
2. 固定負債			
退職給付引当金	91,272,742	84,174,888	7,097,854
固定負債合計	91,272,742	84,174,888	7,097,854
負債合計	97,538,055	87,386,601	10,151,454
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産	319,919,334	296,433,717	23,485,617
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(99,043,206)	(98,956,700)	(86,506)
正味財産合計	319,919,334	296,433,717	23,485,617
負債及び正味財産合計	417,457,389	383,820,318	33,637,071

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入金	100,000	60,000	40,000
第1種会員受取入金	80,000	60,000	20,000
賛助会員受取入金	20,000	0	20,000
② 受取会費	96,941,000	97,396,000	△ 455,000
第1種会員受取会費	85,981,000	85,916,000	65,000
第2種会員受取会費	3,460,000	3,920,000	△ 460,000
賛助会員受取会費	7,500,000	7,560,000	△ 60,000
③ 事業収益	48,319,408	38,588,493	9,730,915
品質管理強化事業収益	23,650,000	23,892,000	△ 242,000
研修・講習事業収益	19,191,100	9,623,900	9,567,200
受託・支援事業収益	4,305,716	3,471,300	834,416
物資斡旋事業収益	1,172,592	1,601,293	△ 428,701
④ 雑収益	4,900,866	4,727,439	173,427
受取利息	6,864	6,535	329
広告料収益	3,949,832	3,451,874	497,958
刊行物販売収益	609,356	590,040	19,316
雑収益	334,814	678,990	△ 344,176
経常収益計	150,261,274	140,771,932	9,489,342
(2) 経常費用			
① 事業費	103,794,807	89,734,422	14,060,385
役員報酬	17,670,108	17,670,108	0
給料手当	41,172,551	35,943,026	5,229,525
退職給付費用	4,968,498	4,654,507	313,991
厚生費	8,536,825	7,742,482	794,343
会議費	8,355,090	2,284,057	6,071,033
旅費交通費	5,216,874	3,498,377	1,718,497
通信運搬費	1,744,755	1,356,116	388,639
什器備品費	793,752	179,150	614,602
消耗品費	662,054	578,945	83,109
修繕費	93,214	0	93,214
図書・印刷製本費	2,403,337	2,616,932	△ 213,595
光熱水料費	13,631	14,789	△ 1,158
賃借料	9,858,948	9,858,948	0
諸謝金	320,359	340,696	△ 20,337
減価償却費	86,506	87,638	△ 1,132
負担金支出	61,000	57,000	4,000
普及活動費	913,800	1,650,800	△ 737,000
支払手数料	87,456	86,955	501
雑費	836,049	1,113,896	△ 277,847

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管 理 費	22,980,850	22,483,915	496,935
役 員 報 酬	3,930,012	3,930,012	0
給 料 手 当	5,381,700	5,244,545	137,155
退 職 給 付 費 用	2,129,356	1,994,789	134,567
厚 生 費	1,225,991	1,217,544	8,447
会 議 費	632,315	657,480	△ 25,165
旅 費 交 通 費	1,097,252	1,139,424	△ 42,172
通 信 運 搬 費	366,405	498,034	△ 131,629
什 器 備 品 費	39,600	41,250	△ 1,650
消 耗 品 費	99,329	84,840	14,489
修 繕 費	539,550	0	539,550
図 書 ・ 印 刷 製 本 費	213,619	640,939	△ 427,320
賃 借 料	2,548,337	2,548,337	0
保 險 料	100,059	94,374	5,685
租 税 公 課	2,001,342	1,865,988	135,354
負 担 金 支 出	122,375	122,375	0
寄 付 金 支 出	300,000	0	300,000
交 際 費	560,412	585,264	△ 24,852
支 払 手 数 料	1,433,306	1,402,395	30,911
雑 費	259,890	416,325	△ 156,435
経 常 費 用 計	126,775,657	112,218,337	14,557,320
当 期 経 常 増 減 額	23,485,617	28,553,595	△ 5,067,978
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
什 器 備 品 除 却 損	0	22,925	△ 22,925
経 常 外 費 用 計	0	22,925	△ 22,925
当 期 経 常 外 増 減 額	0	△ 22,925	22,925
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	23,485,617	28,530,670	△ 5,045,053
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	296,433,717	267,903,047	28,530,670
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	319,919,334	296,433,717	23,485,617
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	319,919,334	296,433,717	23,485,617

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産は定率法により償却している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の経理処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産				
運営基金引当資産	90,000,000	0	0	90,000,000
減価償却引当資産	8,956,700	86,506	0	9,043,206
退職給付引当資産	84,174,888	7,097,854	0	91,272,742
小 計	183,131,588	7,184,360	0	190,315,948
合 計	183,131,588	7,184,360	0	190,315,948

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特 定 資 産				
運営基金引当資産	90,000,000	()	(90,000,000)	()
減価償却引当資産	9,043,206	()	(9,043,206)	()
退職給付引当資産	91,272,742	()	()	(91,272,742)
小 計	190,315,948	(0)	(99,043,206)	(91,272,742)
合 計	190,315,948	(0)	(99,043,206)	(91,272,742)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
仕 器 備 品	9,607,113	9,043,206	563,907
合 計	9,607,113	9,043,206	563,907

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	84,174,888	7,097,854	0	0	91,272,742
合計	84,174,888	7,097,854	0	0	91,272,742

財 産 目 録

2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額	金 額
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	17,739		
当座預金			
ゆうちょ銀行金	483,651		
普通預金			
みずほ銀行麹町支店	4,580,037		
三菱UFJ銀行麹町中央支店	1,332,673		
三井住友銀行麹町支店	436,118		
三井住友信託銀行本店営業部	2,710		
定期預金			
みずほ銀行麹町支店	123,728,105		
三菱UFJ銀行麹町中央	69,956,794		
三井住友銀行麹町	10,000,000		
未収金			
精米HACCP継続維持審査料	4,823,500		
立替			
雇用保険料	1,225,599		
前払費用			
従業員定期代	1,199,608		
流動資産合計		217,786,534	
2. 固定資産			
特定資産			
運営基金引当資産			
三井住友銀行麹町支店	10,000,000		
三井住友信託銀行本店営業部	80,000,000		
減価償却引当資産			
三菱UFJ銀行麹町中央支店	9,043,206		
退職給付引当資産			
みずほ銀行麹町支店	91,272,742		
その他の固定資産			
保証金			
全国米穀販売事業共済(協)	5,587,000		
什器備品			
米粒判別機	563,907		
抛出			
一般社団法人日本精米検査認証協会	3,000,000		
電話加入金	204,000		
固定資産合計		199,670,855	
資産合計			417,457,389
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
3月分社会保険料	1,700,345		
前受			
研修会費	243,100		
預り金			
源泉所得税等	4,321,868		
流動負債合計		6,265,313	
2. 固定負債			
退職給付引当金	91,272,742		
固定負債合計		91,272,742	
負債合計			97,538,055
III. 正味財産の部			319,919,334

収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	決 算 額	予 算 額	差 額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 入 会 金 収 入	100,000	60,000	40,000
第1種会員入会金収入	80,000	60,000	20,000
賛助会員入会金収入	20,000	0	20,000
② 会 費 収 入	96,941,000	97,920,000	△ 979,000
第1種会員会費収入	85,981,000	86,900,000	△ 919,000
第2種会員会費収入	3,460,000	3,460,000	0
賛助会員会費収入	7,500,000	7,560,000	△ 60,000
③ 事 業 収 入	48,319,408	45,230,000	3,089,408
品質管理強化事業収入	23,650,000	24,090,000	△ 440,000
研修・講習事業収入	19,191,100	15,370,000	3,821,100
受託・支援事業収入	4,305,716	4,230,000	75,716
物資斡旋事業収入	1,172,592	1,540,000	△ 367,408
④ 雑 収 入	4,900,866	4,900,000	866
利 息 収 入	6,864	10,000	△ 3,136
広 告 料 収 入	3,949,832	3,910,000	39,832
刊 行 物 販 売 収 入	609,356	500,000	109,356
雑 収 入	334,814	480,000	△ 145,186
事業活動収入計	150,261,274	148,110,000	2,151,274
2. 事業活動支出			
① 事 業 費 支 出	98,739,803	102,515,000	△ 3,775,197
役 員 報 酬	17,670,108	17,680,000	△ 9,892
給 料 手 当	41,172,551	41,750,000	△ 577,449
厚 生 費	8,536,825	8,760,000	△ 223,175
会 議 費	8,355,090	8,395,000	△ 39,910
旅 費 交 通 費	5,216,874	5,786,000	△ 569,126
通 信 運 搬 費	1,744,755	1,760,000	△ 15,245
什 器 備 品 費	793,752	730,000	63,752
消 耗 品 費	662,054	696,000	△ 33,946
修 繕 費	93,214	100,000	△ 6,786
図 書 ・ 印 刷 製 本 費	2,403,337	2,565,000	△ 161,663
光 熱 水 料 費	13,631	18,000	△ 4,369
賃 借 料	9,858,948	9,860,000	△ 1,052
諸 謝 金	320,359	420,000	△ 99,641
負 担 金 支 出	61,000	175,000	△ 114,000
普 及 活 動 費	913,800	2,500,000	△ 1,586,200
支 払 手 数 料 費	87,456	80,000	7,456
雑 費	836,049	1,240,000	△ 403,951

(単位：円)

科 目	決 算 額	予 算 額	差 額
② 管 理 費 支 出	20,851,494	25,240,000	△ 4,388,506
役 員 報 酬	3,930,012	3,931,000	△ 988
給 料 手 当	5,381,700	5,445,000	△ 63,300
厚 生 費	1,225,991	1,300,000	△ 74,009
会 議 費	632,315	1,185,000	△ 552,685
旅 費 交 通 費	1,097,252	4,220,000	△ 3,122,748
通 信 運 搬 費	366,405	460,000	△ 93,595
什 器 備 品 費	39,600	200,000	△ 160,400
消 耗 品 費	99,329	110,000	△ 10,671
修 繕 費	539,550	600,000	△ 60,450
図 書 ・ 印 刷 製 本 費	213,619	235,000	△ 21,381
賃 借 料	2,548,337	2,550,000	△ 1,663
保 険 料	100,059	101,000	△ 941
諸 謝 金	0	100,000	△ 100,000
租 税 公 課	2,001,342	2,095,000	△ 93,658
負 担 金 支 出	122,375	123,000	△ 625
寄 付 金 支 出	300,000	0	300,000
交 際 費	560,412	700,000	△ 139,588
支 払 手 数 料	1,433,306	1,435,000	△ 1,694
雑 費	259,890	450,000	△ 190,110
事 業 活 動 支 出 計	119,591,297	127,755,000	△ 8,163,703
事 業 活 動 収 支 差 額	30,669,977	20,355,000	10,314,977
II 投 資 活 動 収 支 の 部			
1. 投 資 活 動 収 入			
投 資 活 動 収 入 計	0	0	0
2. 投 資 活 動 支 出			
特 定 資 産 取 得 支 出	7,184,360	7,190,000	△ 5,640
退 職 給 付 引 当 資 産 取 得 支 出	7,097,854	7,100,000	△ 2,146
減 価 償 却 引 当 資 産 取 得 支 出	86,506	90,000	△ 3,494
投 資 活 動 支 出 計	7,184,360	7,190,000	△ 5,640
投 資 活 動 収 支 差 額	△ 7,184,360	△ 7,190,000	5,640
III 財 務 活 動 収 支 の 部			
1. 財 務 活 動 収 入			
財 務 活 動 収 入 計	0	0	0
2. 財 務 活 動 支 出			
財 務 活 動 支 出 計	0	0	0
財 務 活 動 収 支 差 額	0	0	0
IV 予 備 費 支 出	0	0	0
当 期 収 支 差 額	23,485,617	13,165,000	10,320,617
前 期 繰 越 収 支 差 額	188,035,604	188,035,604	0
次 期 繰 越 収 支 差 額	211,521,221	201,200,604	10,320,617

収支計算書に対する注記

(注) 1. 資金の範囲

資金の範囲には現金預金・預け金・未払金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	81,166	17,739
当 座 預 金	171,631	483,651
普 通 預 金	2,643,405	6,351,538
定 期 預 金	180,868,412	203,684,899
未 収 金	5,006,650	4,823,500
立 替 金	1,459,695	1,225,599
前 払 費 用	1,016,358	1,199,608
合 計	191,247,317	217,786,534
未 払 金	1,900,689	1,700,345
前 受 金	292,600	243,100
預 り 金	1,018,424	4,321,868
合 計	3,211,713	6,265,313
次期繰越収支差額	188,035,604	211,521,221

監査報告

2024年5月13日

一般社団法人日本精米工業会
会長 木村 良 殿

監事 竹越 正博 ㊞

監事 青木 孝 ㊞

監事 黒川 悦春 ㊞

私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）について監査いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上